

各グループの取組と課題

7) コーラスタルミ

代表：三嶋和彦

コーラス・タルミは平成15年に垂水区在住のシルバーカレッジOBを中心に結成された合唱団です。現在、団員は49名、女性が33名、男性が16名です。

歌とお喋りが大好きで、3人の素敵なお先生方に恵まれ、話上手な先生のご指導で練習中も笑顔と笑い声が絶えないのが、我が合唱団の特徴です。

来年1月には2年振りに第四回目の演奏会を予定しています。日頃の練習の成果を発揮し、この演奏会を成功させるために、本年は、より一層力を入れて練習に取り組めます。

毎週土曜日の午前中に神陵台小学校の解放教室で練習をしています。ご関心のある方は、是非一度覗いてみて下さい。練習の見学も大歓迎です。



8) KSC手話ソング同好会

代表：谷口文子

手話ソングとは歌の歌詞を手話で表現します。この会は平成17年に設立され、月2回の練習と友愛訪問を活動の中心にしています。

友愛訪問では、先ず知らないうちに手話を使っていることの例をあげ、身近に感じてもらうことから始まります。

童謡、唱歌そして懐かしい歌等、皆さんに口ずさんでもらえるような曲を選んでいきます。時には手拍子を頂くことも。嬉しい瞬間です。演者が楽しくなくては伝わりません。その為にも会員のスキルアップを図るため、少し難解な曲にも挑戦し、高齢者学習センター文化発表会に出演しています。広く一般の方々とも楽しさを共有できればと願い、日々努力を続けています。



9) KSCハワイアンフラ 代表：長井夏子

私達KSCハワイアンフラは、今年で活動15周年を迎えます。現在のメンバーは15名で、年齢も60代～80代と元気なシニアグループです。

このハワイアンフラはゆったりとしたリズムに合わせて、はだしで大地を踏み、風や波・花・愛の思いを手で表現し、最近健康にも良いと人気が高まっています。

又、踊って楽しむだけでなくフラダンスを通してグループ内の親睦を図り、人と人とのつながりを広げ、「人に活力」をモットーに介護施設、デイサービス等への友愛訪問をして喜ばれております。



10) SCクラブ大正琴

代表：前田仁子

SCクラブ大正琴は、カレッジ在学時代より楽しんできた大正琴を老人施設や地域の会合等で演奏しています。

「来るのを待っていたよ」「この曲なつかしいなあ」「若い時、よう歌ったんや」等の言葉をかけられると嬉しくなってしまう。

「一期一会」の縁があって活動できる喜びは、かけがえのないものです。楽しく元気な声で歌われるのを聞き私達もやりがいを感じています。

こうして楽しい時間を共有することが、ボランティアを長続きさせるもとだと考えています。お陰様で多くの依頼をいただき年間200回以上の活動を続けています。

尚、この度須磨区社会福祉協議会から私たちのボランティア活動に対して感謝状をいただきました。今後の活動の励みにしたいと思います。



11) 詩吟同好会

代表：水川正彦

OB詩吟同好会の現在の会員数は約55名です。原則として毎月2回「ひよどり台交流プラザ」で練習しております。

初心者・経験者を問わず、流派に関係なくOB講師の指導のもと漢詩、和歌、俳句等詩の意義、時代背景等も含め広く詩吟の習得に励んでおります。一人ひとりが吟ずる独吟でなく、全員で講師の吟詠に追従し合吟します。朗々と吟ずることで、気を養い、体力の増進が計れ、いつまでも若さを保てます。

会員による発表会を年2回行い、季節には外に出て各種吟行会を催して親睦を深めています。



グループわと連携し施設訪問とうボランティア活動に参画しており今後も継続してまいります。

13) 須磨トレモロクラブ

代表：國井洋三

ハーモニカクラブの発足は、平成20年4月。須磨区の区民センターでハーモニカ講座を受講生していた仲間が主体でした。現在12人中半数以上がKSCのハーモニカクラブOBが占めています。当時、受講生全員が教室で習った二部合奏で、関西ハーモニカ演奏会にも出演して、それなりの成果を収めました(現在も継続しておられる人もいます)。

しかし現在は、NPO法人社会還元グループ「わ」に加盟してから、地域の介護施設を重点に出掛けては、童謡や唱歌を演奏したり施設の人に喜ばれる曲を選曲するなど、自分たちもハーモニカ演奏を楽しみながら、仲間間の結束を高めて行きたいと話合っています。

ボランティア活動するにも会員の中には、家を空け難い人も増えてきています。行動するにも人が揃い難いのが現状です。そこで、ハーモニカ演奏をやって見ようという人、是非どうぞ、入会をお待ちしています。



12) 銭太鼓神戸輝星会

代表：重松豊彦

私たち「銭太鼓 神戸輝星会」は、平成28年6月に結成したクラブです。

神戸市シルバーカレッジで銭太鼓に出会い、卒業後もシルバーカレッジの建学の精神である「再び学んで 他のために」を実践してきました。高齢者から、児童、一般の方など幅広い皆さんに楽しんでいただけるように演技曲も民謡から歌謡曲、同様、唱歌、アニメソングを準備し、年100回近く楽しく活動をしています。

見ていただくだけでなく、体験コーナーも設け、皆さんに楽しんでいただけるよう工夫をしています。

また銭太鼓だけでなく愉快的「なべぶた踊り」なども踊りも取り入れ、喜んでいただいています。



14) フルートクラブ・ジークレフ 代表：岩永薫

KSCの卒業生を中心にした、私達フルートクラブ・ジークレフは発足から2年経ちました。

最初は、フルートアンサンブル用の楽譜を作ることから始め、現在はクラシック・フォークソング・映画音楽・世界の民謡・童謡等レパートリーも増えて、月に1～2回ボランティアやイベントに参加できるようになりました。

部員数は7名でアンサンブルをするのには少なめですが、月2回の練習に各自が自覚を持って臨んでくれるので少数精鋭で頑張っています。(モグモグタイムも有り) 新入部員の歓迎会やクリスマス会等で部員相互の親睦を図ることも大事な活動の一つです。

今後はもう少し部員を増やし、厚みのあるアンサンブルができるようにしたいと思います。



お詫びと訂正
前号 文化部会の特集記事で、書道部代表は横田忠男様でした。お詫びして訂正いたします。

(本特集の編集：八木)